

熱転写アイロンシートの注意内容

記載事項はあくまでもアイロンシートに対しての表記になります。お客様が使用するテキスタイルや転写方法・生地表面の加工処理などによっては、のり成分が生地の奥まで届かずに固まりハガしてしまう場合がございます。素材同士の相性判断は難しいため、すべての転写方法においても生地の変色や破損といったことが**発生する可能性がある事をご理解をいただいた上で**、必ずテスト貼りやサンプル作成等を行うなどしてから、**自己の責任において使用のご判断をお願いいたします。尚、弊社制作製品の使用によって万が一にも生じたお客様への不利益につきましては、弊社には一切責任がないものいたします。**

注意事項

- ▶ 本来の目的以外の身体への使用によるアイロンシートの成分による身体への傷害・プレス後の高温蓄熱状態の転写用シート・プレスやアイロンなどの熱機器による火傷などによって最悪は生命の危険に繋がる場合がございます。
 - ▶ お子様の**誤飲防止**のため、手の届かない場所での作業を行ってください。また、作業後に出る素材カスもお子様**触れないように早めにゴミ箱等への処分**をお願いいたします。
 - ▶ 各シートの転写条件は、メーカーでのプレス機等を使用しての測定上の数値となり目安と御考えください。実際の作業器具や作業環境・使用テキスタイルとの相性などによっては、異なりますので事前にテストをされることをお勧めいたします。また、作業環境での素材の変質や劣化は不良の対象外となります。
 - ▶ シートの転写にはプレス機やアイロンなどの熱機器を使用するため、転写時のプレス痕が残ります。プレス痕は、時間経過や洗濯によって無くなります。ただし器具の温度が高温すぎたり、テキスタイルによって熱によって生地が焼けやすい場合がございますので事前テストをお勧めいたします。
シルク印刷・昇華シート・ダイレクト印刷など方法であっても強弱はありますが、プレス痕は発生いたします。
 - ▶ ポリエステル生地に対しては全ての素材において昇華・再昇華の可能性ががあります。生地の性質上、プレス熱やヒーター熱による『てかり』『プレス跡』が発生いたします。また、熱により生地の収縮やインク剥がれ等が発生する場合がございます。**ポリエステル生地の昇華・再昇華および『てかり』『プレス跡』は不良の対象外となります。**ポリエステル生地につきましては事前テストまた、サンプル作成をお勧めいたします。
 - ▶ しぼり染めや藍染のような後染め下地や特にアジア圏製品で後染や染めた生地の中には、印刷や転写後の乾燥時に生地の色が昇華する場合があります。ポリエステルは100%昇華するとお考えください。生地の判断が行えませんので**昇華につきましては、不良対象外とさせていただきます。**
 - ▶ テキスタイルに撥水加工が施されている場合には、撥水対応用の素材を使用しても近年の撥水成分が強力すぎるためにアイロン転写後に剥がれてしまう場合がございます。撥水部分を薄くこする作業が必要となりますが、確実にハガれないという保証はございません。マークハガレは、シルク印刷・昇華シートでも同様です。
 - ▶ 細かい線や鋭角な角・粘着面が小さいものは、下地の収縮や洗濯によって剥がれてしまう場合がございます。なお、**下地の収縮によるハクリや洗濯やアイロンなどによる変色・変質・ハクリなどは不良の対象外となります。**
- **シルク印刷・熱転写シート・ダイレクト印刷など多種製法がございますが、共通していることは洗濯時に転写面・印刷面を裏返していただくことをお勧めいたしております。**
裏返すことで擦れやひっぱりなど負担が減ります。塩素系や漂白剤などは色抜けや生地のダメージにつながる場合がございますので、生地と製品に適した洗剤をご利用ください。